

【平成 30 年度実施事業編】

平成30年度 研修等実施事業

研修類型	番号	研修等事業名	所管課	実施予定月	参加見込人数 (定員)	ミッション					対象者				
						自助力を 伸ばす	共助力を 高める	公助力を 高める	協働を 進める	情報を使 いこなす	県民	自主防災 組織等	防災関係 団体等	県職員	市町職員等
自然災害	1	自主防災組織リーダー研修会 (防災士養成事業)	防災危機管理局	H30.11予定	100		○				○	○			
	2	災害から子どもを守る研修会	防災危機管理局	H31.1	40	○		○			○			○	○
	3	水害に強い地域づくり協議会連絡調整 会議	流域政策局	H30.4予定ほか	80	○		○	○	○				○	○
	4	水防担当者会議	流域政策局	H30.4予定	80			○		○				○	○
	5	水害リスクと企業活動	流域政策局	未定	50	○				○	○				
	6	被災建築物応急危険度判定 コーディネーター講習会	建築課建築指導室	H31.1	50			○	○					○	○
	7	土砂災害防止担当者研修会	砂防課	H30.4	60			○		○				○	○
	8	ため池整備中長期計画検討会	農村振興課	H30.9	30			○						○	○
	9	滋賀県災害ボランティアセンター運営協 議会委員・担当者会議	滋賀県社会福祉協議会	随時	20				○				○	○	
	10	滋賀県災害時要配慮者支援ネットワ ーク会議	滋賀県社会福祉協議会	H30.6.12	90				○				○	○	○
	11	土木技術関係職員研修会	土木交通部	H30.5.18	100			○						○	
健康危機	1	原子力災害対応研修	医療政策課	下半期	40			○	○				○		
	2	保健所災害医療担当者研修会	医療政策課	下半期	20			○		○			○		
	3	災害医療コーディネーター研修	医療政策課	下半期	60			○	○				○		
	4	近畿ブロックDMAT技能維持研修	医療政策課	下半期	100			○					○		
	5	近畿災害医療ロジスティクス研修会	医療政策課	下半期	50			○					○		
	6	平成30年度健康危機管理シミュレーシ ョン(模擬訓練)	生活衛生課	H30.11	30~50	○					○			○	
	7	感染症対策研修	薬務感染症対策課	下半期	50			○					○	○	○
ライフライン 障害	1	水道水質汚染事故対応説明会	生活衛生課	第2四半期	40			○						○	○
	2	水道事故対応演習	生活衛生課	第3四半期	40			○						○	○
	3	農業集落排水施設における災害時業 務継続計画研修会	農村振興課	H30年上半期	30			○						○	○

【研修類型：自然災害】

防災危機管理局

1 自主防災組織リーダー研修会（防災士養成事業）

◆対象者：県民、自主防災組織役員等 定員 100名

◆実施期日：平成30年11月の3日間（予定）

◆場所：滋賀県危機管理センター

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（助け合う力（共助力）を高める）

地域防災に関する知識や技術を習得できる研修会を実施することにより、平常時からの防災活動（地域のリスクの認識・被害軽減の取組）に取り組み、大規模災害発生時に自主防災組織にて迅速かつ的確に活動できる人材の育成を図る。

また、防災士資格取得につながる研修カリキュラムを実施する。

◆研修プログラム（予定）

未定

2 災害から子どもを守る研修会

◆対象者：県民、県職員、市町職員等 定員 40 名

◆実施期日：平成 31 年 1 月

◆場 所：滋賀県危機管理センター 災害対策室 3・4 （大津市京町四丁目 1-1）

◆講 師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（行政の力（公助力）を高める）

幼稚園、保育園、NPO、子育てサークル等で子どもを守る立場にある方を対象に、災害発生時に子どもの安全を確保するための基礎的な知識や教育・訓練の方法や、子どもに命の大切さを気付かせる方法などを学習し、災害から子どもの命を守ることを目的に研修を開催する。

◆研修プログラム

13 時～16 時（半日コース）
13:00～15:00 講義、ワークショップ、発表
15:00～16:00 まとめ

3 水害に強い地域づくり協議会連絡調整会議

◆対象者：河川・防災関係県職員および市町職員 定員 80 名

◆実施期日：平成 30 年 4 月（予定）ほか

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
（大津市京町四丁目 1 - 1）

◆講師：土木交通部流域政策局流域治水政策室流域治水第 1, 2 係

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（情報を使いこなす）

地球温暖化による気候変動の影響から集中豪雨の頻発や台風の大型化など、大きな洪水が発生する危険性が高まっています。平成 23 年のタイ水害で明らかになったように、水害への対応は企業活動に大きな影響を与える可能性があります。

特に、滋賀県流域治水条例第 4 条に定める県と市町その他関係者との連携に努め、各圏域・地域の取組を共有することを目的とし、水害に強い地域づくりをテーマとした先進事例の紹介や協議を実施するものです。

◆研修プログラム（案）

9 時 00 分～12 時 00 分	
9:00 - 9:30	流域治水の考え方
9:30 -11:00	水害に強い地域づくり協議会の進め方 （各圏域での取組経過、今後の取組に係る調整） （先進地区事例の紹介） （避難判断に関する取組）
11:00-11:30	その他関連する国等の動向
11:30-12:00	質疑・意見交換

【研修類型：自然災害】

流域政策局

4 水防担当者会議

◆対象者：各土木事務所・支所、市町水害担当者 定員 80名

◆実施期日：平成30年4月 下旬

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：彦根地方气象台、砂防課、流域治水政策室 未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

県・市町職員を対象に、水害・土砂災害発生の危険性が高まった時に避難情報の発令や情報伝達等が的確に行われるよう、出水期を前に水防計画に基づく各機関の役割等を再確認し、各種防災情報の知識を深め、伝達方法等についての周知を図る。

◆研修プログラム

13時30分～15時30分（半日コース）	
13:00～13:30	受付
13:30～14:00	防災気象情報について
14:00～14:30	河川に関する情報について
14:30～15:00	土砂災害警戒情報について
15:00～15:30	滋賀県土木防災情報システムについて

5 水害リスクと企業活動

◆対象者：県民（県内企業） 定員 50 名
※宅地建物取引業者、保険代理店等を想定

◆実施期日：未定

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室 1～4
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：土木交通部流域政策局流域治水政策室流域治水第 1, 2 係

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（情報を使いこなす）

地球温暖化による気候変動の影響から集中豪雨の頻発や台風の大型化など、大きな洪水が発生する危険性が高まっています。平成 23 年のタイ水害で明らかになったように、水害への対応は企業活動に大きな影響を与える可能性があります。

特に、滋賀県流域治水条例は、第 29 条において宅地建物取引業者に対して、宅建取引時に水害リスク情報を提供するよう努力義務を規定しており、宅地建物取引業者や水害保険を取り扱う保険代理店等において水害リスク情報の利用についての情報のニーズが高いことから、水害リスクと企業活動をテーマとした研修を実施するものです

◆研修プログラム（案）

13 時 00 分～14 時 30 分	
13:00-13:10	流域治水の考え方
13:10-13:45	水害リスクを知ろう～地先の安全度マップ～ (滋賀県防災情報マップの利用法) (画面に防災ポータルの画面を映写)
13:45-13:55	水害お役立ち情報
13:55-14:30	質疑・意見交換

※ 上記は一例。業種に応じて時間・内容を調整可能。

6 被災建築物応急危険度判定コーディネーター講習会

◆対象者：県職員および市町職員 定員 50名程度

◆実施期日：平成31年1月

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：滋賀県土木交通部建築課 建築指導室

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）（関係者との協働を進める）

地震災害発生時に実施する被災建築物応急危険度判定活動については、実施主体となる各市町が「実施本部」となり、判定活動の拠点として機能することが求められている。

市町では、被災状況から、被災建築物応急危険度判定活動実施を決定した場合には実施本部を立ち上げ、判定必要棟数を推定した上で、必要判定士数を把握・要請し、参集した判定士を状況に応じて配置するなどの業務を実施する必要がある。

災害時の円滑な判定活動の実施を目的に、判定活動業務を総括し判定士の配置等に従事する「被災建築物応急危険度判定コーディネーター」の養成講習会を実施する。

◆研修プログラム

13時～17時（半日コース）（案）	
13：30～13：35	開会
13：35～14：35	判定コーディネーター業務について
14：35～14：45	休憩
14：45～16：30	演習＋発表
	閉会

【研修類型：自然災害】

砂防課

7 土砂災害防止担当者研修会

◆対象者：県職員・市町職員等 定員約 60 名

◆実施期日：平成 30 年 4 月下旬

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：所属 砂防課 氏名 未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める・情報を使いこなす）

市町が的確に避難情報を発信できるよう、土砂災害警戒区域や土砂災害警戒情報について説明する。また、土砂災害に対する防災訓練の実施を促す。

◆研修プログラム

15 時～17 時（半日コース）	
15:00 ～ 15:30	土砂災害防止法に基づく基礎調査と警戒区域等の指定について（30 分）
15:30 ～ 16:00	土砂災害警戒情報について（30 分）
16:00 ～ 16:30	滋賀県土木防災情報システムについて（30 分）
16:30 ～ 17:00	土砂災害防止月間（防災訓練等）について（30 分）

8 ため池整備中長期計画検討会

◆対象者：市町職員等 定員 30名

◆実施期日：平成30年9月以降

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室2
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

近年の豪雨や地震等により全国で多くの農業用ため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえ、県内の主な重要水防ため池について整備計画の策定を行うことで、防災減災対策を計画的かつ効率的に実施する必要がある。そのため、市町を対象としたため池整備中長期計画を策定するための検討会を行う。

◆研修プログラム

9時～12時（半日コース）	
9：00～9：15	1. はじめに
9：15～10：30	2. 県内の農業用ため池における現状と課題について
10：30～11：45	3. ため池整備中長期計画（案）について
11：45～12：00	4. まとめ
	*上記は仮想であり、まったく未定の状況

【研修類型：自然災害】

9 滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会委員・担当者会議

◆対象者：防災関係団体等、県職員 定員 20名

◆実施期日：平成30年5月、8月、12月、平成31年2月（予定）

◆場所：滋賀県危機管理センター ○○○○○
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（協働を進める）

◆研修プログラム

○○時～○○時（○日コース）
未定

【研修類型：自然災害】

10 滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議

◆対象者：防災関係団体等、県職員 定員 90名

◆実施期日：平成30年6月、12月 (予定)

◆場所：滋賀県危機管理センター ○○○○○
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション (協働を進める)

◆研修プログラム

○○時～○○時 (○日コース)
未定

【研修類型：自然災害】

土木交通部

11 土木交通部関係職員研修会

◆対象者：県職員 定員 100 名程度

◆実施期日：平成 30 年 5 月 18 日（金）

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
（大津市京町四丁目 1 - 1）

◆講師：

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

土木交通部の職員にとっては、ひとたび災害が発生すれば、皆、公共施設の復旧に向けてその職責を担っていくこととなります。災害に備えて行政の力を高めるため、災害復旧、防災対策、危機管理等の研修を実施します。

◆研修プログラム

15 時 00 分～18 時 15 分（半日コース）	
14:00～14:30	受付
14:30～16:30	研修会（1部） 県派遣職員による福島県・熊本県派遣活動報告
16:30～16:45	休憩
16:45～18:15	研修会（2部） 講演「目標管理型災害対応と受援のあり方」 名古屋大学減災連携研究センター 平山 修久 准教授

1 原子力災害対応研修

◆対象者：防災関係団体等 定員 40名

◆実施期日：平成30年度 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室1
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：所属 滋賀県放射線技師会 氏名 未定

◆研修の概要とミッション（「行政の力（公助力）を高める」「関係者との協働を進める」）

原子力災害時に緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）内の住民を円滑にUPZ外に避難させるためには、迅速かつ効率的なスクリーニングが必要となる。そのための、専門知識とスクリーニング技術を持った人材の育成を図ることを目的とする。

◆研修プログラム

13時～17時（半日コース）	
13:00～13:10	開会/オリエンテーション
13:10～14:10	講義1「放射線の基礎と人体の影響について」
14:10～14:20	（休憩）
14:20～15:10	講義2「原子力災害医療、スクリーニングについて」
15:10～16:50	実習「放射線防護機材の取扱い」 (1) 個人線量計の取扱い (2) サーベイメータの取扱い (3) スクリーニング (4) 評価と説明
16:50～17:00	（休憩）
17:00～17:10	閉会/質疑応答

【研修類型：健康危機】

医療政策課

2 保健所災害医療担当者研修会

◆対象者：県職員 定員 20名

◆実施期日：平成30年度 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室1
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：所属 医療政策課 氏名 未定 等

◆研修の概要とミッション（「行政の力（公助力）を高める」「情報を使いこなす」）

県総合防災訓練における災害医療（地方）本部運営訓練および健康医療福祉部マニュアル訓練にかかるとの伝達講習

◆研修プログラム

9時～12時（半日コース）	
9：00～9：30	総合防災訓練における災害医療体制の概要について
9：30～10：00	総合防災訓練における災害医療本部運営について
10：00～11：00	総合防災訓練における災害医療地方本部運営について
11：00～11：45	健康医療福祉部マニュアル訓練について
11：45～12：00	質疑応答

【研修類型：健康危機】

医療政策課

3 滋賀県災害医療コーディネーター研修

◆対象者：防災関係団体等 定員 60名（受講者40、講師15、事務局5）

◆実施期日：平成30年 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室5・6・7・8・9
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：所属 災害医療ACT研究所

◆研修の概要とミッション（「行政の力（公助力）を高める」「関係者との協働を進める」）

災害医療コーディネーターの活動に必要な統括・調整体制の知識の獲得および当該体制の標準化を目的とする。

◆研修プログラム

1. 5日コース	
15:00～15:10	開会/オリエンテーション
15:10～15:40	滋賀県の災害医療体制
15:40～15:50	(休憩)
15:50～17:20	災害図上訓練 (DIG)
17:20～17:30	(休憩)
17:30～19:20	避難所運営訓練 (HUG)
19:20～19:30	振り返り
9:00～9:10	前日振り返り
9:10～10:30	アセスメント (AS)
10:30～10:40	(休憩)
10:40～12:00	本部運営技術
12:00～13:00	昼食
13:00～15:20	本部体験訓練 (HAG)
15:20～15:30	(休憩)
15:30～15:40	振り返り
15:40～15:40	閉会式、記念撮影

4 近畿ブロック DMAT 技能維持研修

◆対象者：日本DMAT 隊員登録者 定員 100 名程度

◆実施期日：平成30年 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室5～9、プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：所属 厚生労働省DMAT 事務局 等

◆研修の概要とミッション（「行政の力（公助力）を高める」）

近畿ブロック6府県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）の日本DMAT 隊員として登録されている者に対して、DMAT 活動に必要な知識・技術の維持、資質の向上を目的とした研修を実施することによって、災害時の応援、受援にかかる対応能力の向上を図る。

◆研修プログラム

1. 5日コース
①開会/オリエンテーション ②厚生労働省のDMATに係る施策の説明 ③EMISの説明および実習 ④広域医療搬送の仕組みとカルテ ⑤統括研修（本部運営等） ⑥病院支援のあり方 ⑦病院におけるDMATの受入れ ⑧事例紹介 ⑨机上訓練 等
※時間配分未定

【研修類型：健康危機】

医療政策課

5 近畿災害医療ロジスティクス研修会

◆対象者：近畿各府県下のDMAT隊員登録者 定員 50名程度

◆実施期日：平成30年 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室5～9、プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：所属 近畿地方災害医療ロジスティクス検討会 等

◆研修の概要とミッション（「行政の力（公助力）を高める」）

近畿ブロック6府県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）の日本DMAT隊員として登録されている者に対して、報収集、連絡、調整、記録等々を担うロジスティック（業務調整員）の技術向上、連携等を図ることによって、災害時の応援、受援にかかる対応能力の向上を図る。

◆研修プログラム

1. 5日コース	
①開会/オリエンテーション	
②EMISの説明および実習	
③事例紹介	
④ロジスティクス訓練（机上訓練）	等
※時間配分未定	

6 平成30年度健康危機管理シミュレーション（模擬訓練）

◆対象者：県内の大規模食品量販店のエリアマネージャー、店長等
定員 30～50名

◆実施期日：平成30年11月末頃

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室5～9
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション（公助力を高める）

①概要

架空の大規模食品量販店の総菜コーナーで調理された惣菜を購入した客から、下痢、嘔吐等の食中毒様症状を呈したとの連絡があった時の、店として行うべき初動対応（状況把握、情報共有、確認事項等）、行政等関係機関との連携等について、事案発生を想定したシナリオにより模擬体験し、与えられた課題をグループで考える。

②ミッション

大規模な食中毒等健康被害が発生した場合に備え、大規模食品量販店がとるべき初動対応、関係機関との連携等の危機管理体制を確認するとともに、健康危機事案への対応能力の向上を図る。

※詳細決定は8月頃

◆研修プログラム

14時～17時（半日コース）	
[タイムスケジュール案]	
14:00～14:10	1. オリエンテーション（訓練の進め方について）
14:10～14:30	2. 講義（食中毒の基礎知識等について）
14:30～16:15	3. 机上訓練（シナリオによる模擬体験および課題討議）
16:15～16:30	4. 講評、まとめ

【研修類型：健康危機】

薬務感染症対策課

7 感染症対策研修

◆対象者：県職員、市町職員、関係団体職員等 定員 50名

◆実施期日：下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション（公助力を高める）

保健所、市町の感染症対策担当者および関係団体職員等を対象として開催し、感染症に関する知識や感染症発生時の対応について学び、緊急時に適切に対処できるよう研修を行う。

◆研修プログラム

13時～16時（半日コース）	
13:00～15:30	講義
15:30～16:00	質疑応答

【研修類型：ライフライン障害】

生活衛生課

1 水道水質汚染事故対応説明会

◆対象者：市町等の水道事業者および県企業庁、各保健所 定員 40名

◆実施期日：平成30年度第2四半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室1
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：県健康医療福祉部生活衛生課職員

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

市町等水道担当者および水道行政担当者を対象に、水道水質汚染事故に係る技術研修を行い、危機管理にかかる知識の習得及び危機管理対応能力の向上を図ることを目的とする。

◆研修プログラム（案）（詳細未定）

13時～17時（半日コース）
・水道水質汚染事故時の対応等にかかる説明

【研修類型：ライフライン障害】

生活衛生課

2 水道事故対応演習

◆対象者：市町等の水道事業者および県企業庁 定員 40名

◆実施期日：平成30年度第3四半期

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：滋賀県水道技術支援チーム員
県健康医療福祉部生活衛生課職員

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

市町等水道担当者を対象に研修を行い、知識の習得および訓練を行うことにより、事故対応力の向上を図ることを目的とする。

◆研修プログラム（案）（詳細未定）

13時30分～17時00分（半日コース）

- ・水道事故時の対応
(水道事故の発生を想定した事故対応について、グループ演習)

3 農業集落排水施設における災害時業務継続計画研修会

◆対象者：市町職員等 定員 30名

◆実施期日：平成30年上半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室2
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

災害による農業集落排水施設の長時間の停滞を回避するため、災害が発生した場合は、速やかに被災した施設を特定し、影響を受ける把握と利用者への周知を行うとともに応急対策を実施する必要がある。そのため、施設を所有する市町を対象とした災害に対する事業継続計画(BCP)を策定するための研修会を行う。

◆研修プログラム

9時～12時（半日コース）	
9:00～9:15	1. はじめに
9:15～10:30	2. 災害時における汚水処理に関する被害について
10:30～11:45	3. 農業集落排水事業における災害時BCPについて
11:45～12:00	4. まとめ

1 地震災害初動対応訓練

◆対象者：県職員（緊急初動対策班員および防災危機管理局職員）：100名程度

◆実施期日：未定

◆場所：滋賀県危機管理センター オペレーションルーム、災害対策各室等
(大津市京町四丁目1-1)

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）（関係者との協働を進める）（情報を使いこなす）

・大規模地震発生時に初動対応を行う緊急初動対策班員および防災危機管理局員、また防災関係機関等職員の災害対応への理解を深めるとともに、情報処理能力の向上や関係者相互連携の強化を図ることを目的に訓練を行う。

◆研修プログラム

7時30分～12時00分（半日コース）
第1部（7時30分～9時30分）
① 前段（7時30分～8時） 安否確認システムを活用したメールの配信および緊急初動対策班員の参集訓練と参集してきた要因による災害対策本部事務局の設営訓練を実施。（主に緊急初動対策班員を対象）
② 後段（8時15分～9時15分）：第1回本部員会議開催まで 地震発生後、緊急初動対策班員と災害対策本部事務局員は、被害情報の収集・伝達および本部員会議開催に係る事務の訓練を実施。（消防応援活動調整本部等関係機関との連携も行う。）
第2部（9時30分～11時15分）：第1回本部員会議終了後から第2回本部員会議開催まで 第1回本部員会議の終了後、緊急初動対策班員から事務を引き継いだ災害対策本部事務局員による連絡調整、被害情報等の収集・伝達および第2回本部員会議開催にかかる訓練を実施。（眺望応援活動調整本部等関係機関との連携も行う。）
第3部（11時30分～12時00分） 検証会の実施

【研修類型：訓練・能力開発】

防災危機管理局

2 滋賀県総合防災訓練

◆対象者：県職員、防災関係機関職員等 定員 85 名

◆実施期日：平成 30 年 9 月 2 日（日）7:00～11:30

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策本部室、オペレーションルーム、災害対策室 5、
災害対策室 9
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：－

◆研修の概要とミッション（行政の力を（公助力）を高める）

災害時において関係者が連携して、迅速、的確に対応できる体制の確立と県民の防災意識の高揚を図る。

◆研修プログラム

7 時 00 分～11 時 30 分（半日コース）	
7:00～11:30	
・ 災害対策本部訓練	災害対策本部室
・ 輸送調整所	オペレーションルーム
・ ボランティアセンター	災害対策室 5
・ DMAT 調整本部	災害対策室 9

3 原子力防災訓練

◆対象者：行政職員 約100名

◆実施期日：未定（国・福井県が実施する原子力防災訓練と連携）

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター、各災害対策室、災害対策本部室、オペレーションルーム
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：なし

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

- ・緊急事態応急対策手順の確認および課題の抽出、今後の対策・対応の改善
- ・原子力防災対策に係る関係防災機関との連携強化

◆研修プログラム

7時～12時（半日コース）
7：00～12：00
①災害対策本部等の設置運営訓練
②対策拠点施設への参集訓練
③緊急時通信連絡訓練
④緊急時モニタリング訓練
⑤緊急被ばく医療訓練
⑥住民等に対する情報伝達訓練
⑦周辺住民避難訓練（別日程で開催することがある）
⑧人命救助活動訓練（別日程で開催することがある）

4 リスクコミュニケーション研修会

◆対象者：行政職員 定員 40名

◆実施期日：平成30年度第3四半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室1
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

放射線は五感で感じることができず、自分自身で防護対策を判断することが難しいことから、原子力災害発生時には混乱が起きやすいと考えられる。そのため、平常時から、住民に向けて、放射線や原子力災害対策について分かりやすく説明することが重要である。

そこで、防災業務従事者を対象とし、原子力災害時の住民とのリスクコミュニケーションをテーマに、放射線や原子力防災対策に関して、住民に効果的に伝える能力を高めることを目的とした研修会を開催する。

◆研修プログラム

13時～17時（半日コース）	
13:00～14:30	放射線の基礎知識とその普及方法について
14:30～17:00	原子力災害時の住民とのコミュニケーションについて

5 モニタリング実務研修会

◆対象者：行政職員 定員 20名

◆実施期日：平成30年度第1四半期

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室1
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

原子力災害発生時の避難等の防護措置は、放射線量率の実測値に基づいて行うことを地域防災計画で定めており、平成25年度には滋賀県緊急時モニタリング計画を、平成26年度には滋賀県緊急時モニタリング実施要領を定めたところである。

本研修会を通じて、緊急時モニタリング実施の流れや放射線測定資機材の取扱方法等の習得を図り、緊急時モニタリングを実施する要員の実行能力を高めるとともに、これら計画等の実効性向上を図ることを目的とする。

◆研修プログラム

13時～17時（半日コース）	
13:00～14:30	緊急時モニタリングの考え方について
14:30～17:00	放射線測定資機材の取り扱いについて

【研修類型：訓練・能力開発】

6 市町職員等防災基本研修

◆対象者：県職員・市町職員等 定員 80名

◆実施期日：第1～第2四半期

◆場 所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講 師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション

経験年数が浅い防災関係職員を対象に、災害対応業務に必要な基礎知識や技能の習得を目的に開催し、公助力を高める。

◆研修プログラム

10時～17時（1日コース）
未定（今後調整）

【研修類型：訓練・能力開発】

7 住家の被害認定業務に係る研修会

◆対象者：県職員・市町職員等 定員 50名

◆実施期日：第2～第3四半期

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション

市町被害認定業務関係職員および県防災関係職員を対象に、災害時における住家の被害認定業務に必要な知識や技能の習得を目的に開催し、公助力を高める。

◆研修プログラム

13時～17時（半日コース）
未定（今後調整）

8 防災専門研修（物流）

◆対象者：県職員、市町防災担当職員等 定員 50 名

◆実施期日：平成 30 年 8 月

◆場 所：滋賀県危機管理センター プレスセンター（大津市京町四丁目 1 - 1）

◆講 師：未定

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

東日本大震災や熊本地震など大規模災害時において、支援物資が迅速に被災者に届かないという事態が発生し、多くの課題が示された。その一つに、受援側の県、市町職員に支援物資の搬入、搬出、在庫管理など物流に関するノウハウの不足が考えられる。災害時には流通の専門家の力を借りることも当然必要であるが、それ以上に、県、市町職員が能力開発を行い、民間任せではなく、官民が一体となって災害時に対応することが必要である。

そこで、物流業界や災害時の物流についての研究をされている機関より講師を招き、行政職員に求められる知識や物流のノウハウ等について学び、災害時における支援物資の円滑な供給や避難所の円滑な運営等に活かすこととする。

◆研修プログラム（詳細未定）

13 時～16 時 30 分（半日コース）	
13:00～13:10	1. はじめに（挨拶等）
13:10～14:30	2. 講義「県内で発生が危惧される地震の被害想定」
14:30～14:45	3. 質疑応答・情報交換
14:45～15:00	休憩（15 分）
15:00～16:30	4. ワークショップ「物資輸送に係る対応（机上演習）」

9 赤十字救急法基礎講習

◆対象者：県民 定員30名

◆実施期日：平成30年8月8日（水）
平成31年3月7日（木）

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室 1

◆講師：赤十字救急法ボランティア指導員

◆研修の概要とミッション

事故防止思想の涵養を図り、災害時等において傷病者に適切な手当てを実践できる者を育成することにより、助け合う力を高める。

◆研修プログラム

9時～14時（4時間）	
9:00～9:15	開講式、赤十字救急法について（学科）
9:15～12:00	1. 手当の基本、観察・保温（学科、実技） 2. 一次救命処置（学科、実技）
13:00～14:00	一次救命処置（学科・実技検定含む）、閉講式（受講証授与含む）

10 赤十字救急法救急員養成講習

◆対象者：県民 定員30名

◆実施期日：平成30年8月8日（水）～10日（金）
平成31年3月7日（木）～9日（土）

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室 1

◆講師：赤十字救急法ボランティア指導員

◆研修の概要とミッション

学習したことを基礎として、事故防止思想の涵養を図り、災害時等において傷病者に適切な手当てを実践できる者を育成することにより、生きる力を伸ばし、助け合う力を高める。

◆研修プログラム

8月 8日（水）、3月7日（木）	14時～17時	
8月 9日（木）、3月8日（金）	9時～17時	
8月10日（金）、3月9日（土）	9時～17時	（3日間）
第1日目		
14:00～14:05	開講式	
14:05～17:00	1. 救急法救急員について（学科） 2. 急病について（学科） 3. けがについて（学科） 4. きずの手当て（学科）	
第2日目		
9:00～12:00	1. きずの手当て（実技）	
13:00～17:00	2. 骨折の手当て（学科・実技） 3. 実技総合練習	
第3日目		
9:00～12:00	1. 搬送について（学科・実技） 2. 救護について（学科・実技）	
13:00～16:30	3. 総合実技 4. 実技検定、学科検定	
16:30～17:00	閉講式、受講証授与	

1 1. 災害廃棄物処理図上訓練

◆対象者：市町等職員、県職員 等 定員 60名程度

◆実施期日：未定（平成30年10月～11月頃）

◆場所：滋賀県危機管理センター 大会議室
（大津市京町四丁目1-1）

◆講師：未定（災害廃棄物処理に係る有識者）

◆研修の概要とミッション（行政の力（公助力）を高める）

大規模災害により発生する災害廃棄物の処理対応に備えるため、仮想の災害に基づく設定・シナリオのもとで、災害廃棄物処理の対応（指揮命令系統確立、情報収集、連絡調整、処理体制整備、受援・支援等）を机上で実施する訓練（＝図上訓練）を行う。

◆研修プログラム（予定）

10時～16時30分（1日コース）	
10:00～11:15	挨拶・話題提供、ガイダンス、事前準備 等
11:15～12:15	図上演習（前半）
12:15～13:15	昼食
13:15～13:30	演習前半のレビュー
13:30～14:45	図上演習（後半）
14:45～16:00	発表準備、各班発表
16:00～16:30	講評・挨拶

【研修類型：その他】

流域政策局

1 淡海の川づくりフォーラム

◆対象者：県民 定員 100 名

◆実施期日：平成 31 年 2 月（予定）

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター、災害対策室 1～4
（大津市京町四丁目 1－1）

◆講師：土木交通部流域政策局流域治水政策室流域治水第 1, 2 係

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（情報を使いこなす）

淡海の川づくりフォーラムは、川や水辺にまつわる活動をされている団体・グループの皆さんが、「私たちが川や田んぼ、水路、湖沼と共生しながら暮らすこと」、「川や田んぼ、水路、湖沼と私たちのいい関係」について、公開選考方式のワークショップで考えるイベントです。

淡海の川づくりフォーラムは、いろんな視点で川や水に関わる活動をしていらっしゃる各地の活動団体のみなさん・子どもさんからお年寄りまで幅広い世代のみなさんが、意見を交わしていただく場です。防災・環境等、さまざまな分野に関わる人が連携する場として最適です。

◆研修プログラム（案）

9 時 00 分～16 時 30 分	
9:00～ 9:30	受付
9:30～10:00	開会、主催者あいさつ・説明
10:00～11:00	全体発表
11:00～12:00	テーブル選考
13:00～13:30	復活選考
13:30～16:15	全体討論
16:15～16:30	結果発表、表彰

【研修類型：その他】

中小企業支援課

2 事業継続計画策定支援事業

◆対象者：県民(中小企業・小規模事業者等)、県職員、市町職員等 定員 50名

◆実施期日：平成30年10月頃に2日程開催予定

◆場所：滋賀県危機管理センター 会議室1(予定)
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定(今後調整)

◆研修の概要とミッション(自助力を伸ばす)

研修会等の開催

研修会第1部では、滋賀県で大規模災害等が発生した状況を想定した災害対応模擬演習を、第2部ではBCPを1枚のシートにまとめ、全体像を理解できるBCP簡易シートの作成講習を実施すること等を計画しています。

◆研修プログラム

第1部

時間	内容
13:00~13:05	開会
13:05~15:00	BCP策定事例報告・災害対策模擬演習
15:00~15:15	休憩 15分間
15:15~16:00	研修会第二部に向けた事前課題の説明
16:00	閉会

第2部

時間	内容
13:00~13:05	開会
13:05~15:00	BCP簡易シート作成講習 前半
15:00~15:15	休憩 15分間
15:15~16:00	BCP簡易シート作成講習 後半
16:00	閉会

【研修類型：その他】

防災危機管理局

3 地区防災計画策定研修会

◆対象者：自主防災組織、市町職員等、定員 50 名

◆実施期日：平成 30 年度 下半期

◆場所：滋賀県危機管理センター
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：未定（今後調整）

◆研修の概要とミッション（自助力、共助力を高める）

平成 25 年の災害対策基本法改正により、市町内の一定の地区の居住者及び事業者が行う自発的な防災活動に関する地区防災計画制度が創設された。

この地区防災計画制度について、基本的な考え方や、計画内容、手続等について専門家による講義や先進地の事例紹介を行うことにより、市町各地区の防災の取り組みを支援し、地域防災力の向上を図る。

◆研修プログラム

(未定)

【研修類型：その他】

建築課建築指導室

4 住まいの地震対策講座

◆対象者：県民、自主防災組織等など 定員 80名程度

◆実施期日：平成30年8月または9月

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：滋賀県土木交通部建築課 建築指導室

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（助け合う力（共助力）を高める）

住まいの地震対策や、木造住宅の耐震診断、耐震補強方法など、建築物についての地震防災意識を高める場として実施し、自助力や共助力を高めることを目的とする。

講座を実施することにより、県民により近いところで、住宅や建築物の地震対策の必要性を説明する。

講座では、「地震についての基礎知識」、「熊本地震での活動報告」、「被災建築物応急危険度判定制度の概要」、「県内で起こりうる地震」、「住宅やその他の建築物の耐震化の必要性」、「建物の簡易耐震実験動画」、「住宅での家具の転倒防止方法」、「非常食や備蓄品」、「木造住宅無料耐震診断制度の紹介」、などを盛り込む。

また、家型のペーパークラフト（紙ぶるる）の作成も実施し、建物の簡易耐震実験を行い、見て触れて学び、「どの様な建物が地震に対して強いのか」などを大人から子供まで広い世代が学べる内容とする。

◆研修プログラム

10時～12時（半日コース）（案）	
10：00～10：05	開会
10：05～10：25	講演 住まいの地震対策について
10：25～11：00	工作 ペーパークラフト（紙ぶるる）の作成→簡易耐震実験
11：00～11：50	地震災害に関する実験等の体験
11：50～12：00	閉会

【研修類型：その他】

畜産課

5 家畜防疫の危機管理に係る担当者会議

◆対象者：県職員・市職員 定員 30名

◆実施期日：平成30年5月頃、9月頃、3月頃

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室8・9
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（共助力を高める）

高病原性鳥インフルエンザ等および口蹄疫の発生状況（海外・国内）について、情報を共有するとともに、県内発生時における防疫対応の内容の確認を行う。

また、防疫対応に必要な関係機関との調整等について、協議を行い、各地域における防疫体制整備状況を共有する。

◆研修プログラム

13時半～16時（半日コース）
1. 高病原性鳥インフルエンザ等および口蹄疫発生状況について
2. 発生時の防疫対応について
3. 各地域での研修会等について
4. まとめ

【研修類型：その他】

畜産課

6 家畜防疫研修会

◆対象者：県職員 定員 40名

◆実施期日：平成30年7月頃

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室8・9
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（公助力を高める）

県全体で取り組む家畜防疫の危機管理事案についての研修会を実施し、理解を深めるとともに、発生時の各本部の役割および連携について、学ぶ場とする。

◆研修プログラム

13時半～16時（半日コース）
1. 高病原性鳥インフルエンザ等および口蹄疫について
2. 県対策本部、現地対策本部および地域対策本部について
3. 各対策本部間および各係間での連携について
4. まとめ

【研修類型：その他】

畜産課

7 高病原性鳥インフルエンザ初動訓練

◆対象者：県職員・市職員 定員 100名

◆実施期日：平成30年10月頃

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンターおよび災害対策室1～9
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：未定

◆研修の概要とミッション（公助力を高める）

県内（大津市内）における高病原性鳥インフルエンザの発生を想定し、県対策本部等の初動対応の確認を行うとともに、家畜防疫に係る防疫作業従事者として動員名簿に登録されている職員に対し、発生時の流れを訓練する。

◆研修プログラム

10時～16時（1日コース）
1. 高病原性鳥インフルエンザ発生
2. 県対策本部、現地対策本部および地域対策本部設置
3. 集合場所設置
4. 防疫作業従事者の受入、健康調査等実施
5. 訓練終了

【研修類型：その他】

防災危機管理局

8 防災カフェ

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等、県職員、市町防災担当職員
定員 20名×12回

◆実施期日：毎月1回の定例開催

◆場所：滋賀県危機管理センター エントランスホール
(大津市京町四丁目1-1)

◆司会（ファシリテータ）、講師（ゲスト）：防災に関する各分野の専門家

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（助け合う力（共助力）を高める）（関係者との協働を進める）

多様化、複雑化する様々な危機事案に対する県民の疑問について、各専門分野のゲストとファシリテータとのやりとりや質疑応答を通じてわかりやすく解説する。

◆研修プログラム

18時30分～20時30分	
18:30～19:30	各回テーマの解説
19:30～19:40	休憩および質疑内容調整
19:40～20:30	質疑応答

【研修類型：その他】

防災危機管理局

9 防災情報リテラシー研修

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員 20名

◆実施期日：(随時)

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室2 他
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：防災危機管理局職員

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（関係者との協働を進める）（情報を
使いこなす）

危機管理センター来訪者の要請に応じ、防災情報マップや土木防災情報システムなど、県が有する防災関連システムの見方や使い方、県ホームページに掲載している各種防災情報を紹介することで、災害から自らの命を自ら守るための知識の習得を目指す講座を実施する。

◆研修プログラム

30分程度

防災情報マップや土木防災情報システムなど、県が有する防災関連システムの見方や使い方、県ホームページに掲載している各種防災情報を紹介する。

1. 防災情報マップの使い方
2. 土木防災情報システムの使い方
3. 県ホームページ（防災ポータル）から得られる防災関連情報について

10 地震講座

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員 10 名

◆実施期日：(随時)

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室 2 他
(大津市京町四丁目 1 - 1)

◆講師：防災危機管理局職員

◆研修の概要とミッション (生きる力 (自助力) を伸ばす) (助け合う力 (共助力) を高める) (関係者との協働を進める)

危機管理センター来訪者の要請に応じ、地震災害から自らの命を自ら守ることを理解し、行動してもらうための講座を実施する。

◆研修プログラム

30 分程度

地震災害の怖さを正しく理解してもらうため、地震発生の仕組みや阪神淡路大震災等における被害の状況、また、滋賀県で起こりうる地震について講座を開催する。

1. 地震発生の仕組み
2. 滋賀県に被害をもたらす地震
3. 地震に備えて (個人や地域の取組)

【研修類型：その他】

防災危機管理局

11 原子力防災講座

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員20名程度

◆実施期日：(随時)

◆場所：滋賀県危機管理センター 災害対策室2 他
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：原子力防災室職員

◆研修の概要とミッション(生きる力(自助力)を伸ばす)(助け合う力(共助力)を高める)(関係者との協働を進める)

危機管理センター来訪者の要請に応じ、原子力災害対策にかかる講座を実施する。

◆研修プログラム

30分～1時間程度	
原子力災害時に、県民のみなさんに冷静に行動していただくため、放射線の特性や防護方法、原子力災害時の行動について知ってもらう。	
1	原子力災害とは
2	放射線の特性
3	原子力災害時の行動

【研修類型：その他】

流域政策局

12 みんなで考えよう！水害から命を守る「流域治水」

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員 80 名

◆実施期日：随時

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター、災害対策室 1～4
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：土木交通部流域政策局流域治水政策室流域治水第 1, 2 係

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（情報を使いこなす）

地球温暖化による気候変動の影響から集中豪雨の頻発や台風の大型化など、大きな洪水が発生する危険性が高まっています。このため、どのような洪水に対しても命を守る取組を各地域で進めていただけるよう、川から見た地域の現状や水害に備える基礎知識などを説明します。

◆研修プログラム（案）

13 時 00 分～14 時 00 分	
13:00-13:10	流域治水の考え方
13:10-13:20	水害リスクを知ろう～地先の安全度マップ～ (画面に防災ポータルの画面を映写)
13:20-13:30	水害に強い地域づくり
13:30-13:40	水害お役立ち情報
13:40-14:00	質疑・意見交換
※ 上記は一例。参加者の要望に応じて時間・内容を調整可能	

【研修類型：その他】

流域政策局

13 R-DIG（水害図上訓練）

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員 80 名

◆実施期日：随時

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター、災害対策室 1～4
(大津市京町四丁目 1-1)

◆講師：土木交通部流域政策局流域治水政策室流域治水第 1, 2 係

◆研修の概要とミッション（生きる力（自助力）を伸ばす）（情報を使いこなす）

R-DIG とは River（河川）-Disaster（災害）Imagination（想像）Game（ゲーム）の略で、大きな地図を参加者で囲み、地図上に情報を書き込む作業を参加者全員で話し合いながら行うことで、水害に対する防災意識の向上や課題の発見を図るものです。

一般的な水害の知識習得から一歩進んで、具体的な地域等での取り組みを検討される入り口として最適です。

◆研修プログラム（案）

13 時 00 分～15 時 10 分	
13:00-13:10	グループのリーダーと発表者を決定
13:10-13:40	水防用地図を作ろう！（河川、道路、避難所等の情報を書き込む）
13:40-13:50	休憩
13:50-14:20	気づいたことを付箋に書いて地図に貼る
14:20-14:40	グループごとにまとめ
14:40-15:00	成果発表
15:00-15:10	講評

【研修類型：その他】

14 砂防出前講座

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等、市町職員等 定員 100 名

◆実施期日：随時

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター
(大津市京町四丁目 1 - 1)

◆講師：砂防課 職員

◆研修の概要とミッション

生きる力（自助力）を伸ばす、助け合う力（共助力）を高める、情報を使いこなす

危機管理センター来訪者の要請に応じ、土砂災害から命を守るために必要な知識を習得してもらうための講座を実施する。

◆研修プログラム

30 分程度
1. 土砂災害の特徴と近年の災害発生状況について
2. 地域の土砂災害リスク（土砂災害警戒区域等）について
3. 避難に関する情報（土砂災害警戒情報等）について

15 危機管理センター見学

◆対象者：県民、自主防災組織等、防災関係団体等 定員5名から

◆実施期日：(随時)

◆場所：滋賀県危機管理センター プレスセンター、災害対策室、エントランスホール 他
(大津市京町四丁目1-1)

◆講師：防災危機管理局職員

◆研修の概要とミッション(生きる力(自助力)を伸ばす)(助け合う力(共助力)を高める)(関係者との協働を進める)(情報を使いこなす)

危機管理センターの見学を通じて、県における危機管理対策を県民等に周知・啓発することにより、地域防災力の向上と防災関係機関等の連携強化等を図る。

◆研修プログラム

30分程度

プレスセンター、災害対策室、災害対策本部室、オペレーションルーム、免震ピットその他見学の目的に照らして適当と認める施設の見学を行う。

また、エントランスホールの展示物の見学も可能。

施設見学に合わせて、希望により講座(地震対策、原子力災害対策、水害対策等)の受講にも応じる。

【研修類型：その他】

16 えにしの日（3.11）関連事業

◆対象者：未定 定員 未定

◆実施期日：平成31年3月（予定）

◆場 所：滋賀県危機管理センター ○○○○
（大津市京町四丁目1-1）

◆講 師：未定

◆研修の概要とミッション（自助力を伸ばす、共助力を伸ばす、公助力を高める、
協働を進める、情報を使いこなす）

◆研修プログラム

○○時～○○時（○日コース）

未定